

友の会通信

2014
Vol.
31

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



「神津牧場・荒船風穴観察会」

5月25日、友の会の体験活動「神津牧場・荒船風穴観察会」が行われ、13名の会員が参加されました。当日平地では夏日となりましたが、標高1000mの高原では爽やかな風が吹き抜けるなか、観察会が実施されました。

神津牧場では長靴に履き替え靴底を消毒し、ガイドの庄山由美さんの案内で牧場へ向かいました。

ここで多くのジャージー牛とふれ合い、日本で最初の洋式牧場であること、高地であるため環境に強いジャージー牛を飼育していること等、くわしい解説を聞きながら牧場内を散策しました。

その後、富岡製糸場とともに世界遺産への登録を（この時点では）間近に控えた荒船風穴を、ボランティアガイドの解説を聞きながら見学しました。ここから日本各地へ蚕種が運ばれ、生糸の大量生産に貢献してきたことなど、先人の知恵の偉大さにはただ驚かされるばかり。風穴からの冷風を肌を感じながら観察会は終了しました。

（北爪二郎）



◀ガイドの庄山さん



▼ジャージー種についての説明



▲搾乳についての説明



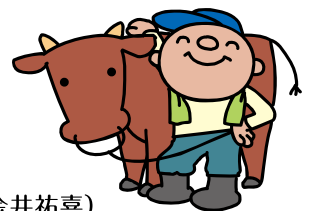
▲荒船風穴のボランティアの説明



▲荒船風穴を前にして

【参加者の声】

- ★神津牧場の牛を間近に観られて良かったです。（柳澤敬一）
- ★牛が身近にいて良かったです。（木樽正人）
- ★山道をおりているとき牛を見たのが1番印象に残った。（木樽優輝）
- ★風穴の帰りの道はきつかったですが、ぐずっていた子どもも楽しみました。（木樽景子）
- ★神津牧場での牛（ジャージー種）がよかった。（横田昇）
- ★風穴はなかなか行く機会、気持ちにならなかったので企画していただいて良かった。（金井祐喜）
- ★風穴への道が1番印象に残った。（柚木郁）
- ★牧場での牛がかわいかった。（井上文雄）
- ★牛が人なつこくてかわいかった。（櫻井昭寛）



平成26年度「友の会総会」開催

平成26年5月11日(日)



川原 英雄会長

平成26年度の総会が5月11日(日)午前10時から博物館学習室で行われ、19名の出席がありました。総会では川原英雄友の会会長、そして自然史博物館柴野次長の挨拶に続き、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。

また、今年度もこの日を当館の「博物館の日」と定め、「学芸員による特別解説」や「化石のレプリカづくり」などが行われ、たくさんのお客さんに参加していただきました。

平成26年度友の会役員を紹介

今年度は、事務局員2名が変わりました。よろしくお願いします。

《平成26年度の役員・事務局》

【会 長】	川原 英雄	【事務局】	柴野 敦雄・戸所 雄彦
【副会長】	山田 利和・柚木 郁		箱田 陽子
【運営委員】	角田 寛子・堀越 友子	【監 事】	松井 則幸・瀬下 保
	櫻井 昭寛・三友 賢一	【顧 問】	横田 英一・青木 道雄
	北爪 二郎・伊丹 清美		原 浩一郎・池下 隆雄

友の会講演会

友の会総会後に当館長谷川名誉館長を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回のテーマは「オオヤマネコとニホンオオカミは共存したか」でした。講演会では実物の化石を準備していただき、オオヤマネコの足跡、ニホンオオカミの足跡を詳細に説明して下さいました。今後の洞窟遺物の調査・研究がこのテーマの謎を解き明かす鍵になるということで話をしめくられました。



▲長谷川名誉館長



▲講演会終了後

博物館の中庭より



昨年度の友の会通信でも紹介した世界最古の樹木「ジュラシクツリー」。

今年は2回大雪がありました。最初に大雪が降った次の日に撮影しました。2回目の大雪の時は残念ながら、自然史博物館までたどり着くことができませんでした。こんな大雪に見舞われたジュラシクツリーも昨年度に咲いた花が受粉したようで、大きな球果（まつぼっくり）ができています。来年度にはその球果の中に立派な種子ができていいることでしょう。



▲雪の中のジュラシクツリー



◀ジュラシクツリー
松ぼっくり



◀現在のジュラシクツリー

私が見つけた自然 友の会会員からのおたより

『キイロトラカミキリ』



私の家の裏に薪が積んであります。ゴールデンウィークが終わって一段落したころ、冬の間に使った薪の残りを整理していました。そこへ黄色と黒の変な虫が飛んできました。図鑑で調べるとキイロトラカミキリという昆虫だということがわかりました。薪が積んであるせいで、いろいろな種類のカミキリムシを見かけますが、この目立つ色合いのカミキリムシは初めてでした。写真をとる終ると、あっという間に飛んでいってしまいましたが、またどこかの薪の隙間にもぐりこんで産卵し、その子どもが来年出てくるのでしょうね。家の片付けの途中の一枚です。

(友の会 事務局)

友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度は、新潟県の「新潟県立自然科学館」と「東新潟火力発電所はまなす館」を予定しています。

期日は11月9日(日)です。募集案内は後日発送します。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

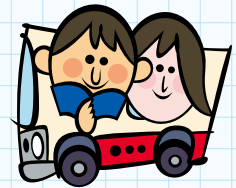


【東新潟火力発電所はまなす館】

新潟市の北東部、聖籠町(せいろうまち)にある東新潟火力発電所は、世界に誇る高効率の発電ユニットをもつ火力発電所。PR施設「はまなす館」では、発電に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。

【新潟県立自然科学館】

自然科学から最新の科学技術まで、科学全般を見て、触れて、遊びながら体験できる参加・体験型の総合科学館。日本海側最大級のプラネタリウムでは、リアルな星空と全天周デジタル映像を体験できるほか、屋外展示場には、蒸気機関車やロケットなどの大型展示、自然観察ができる花木園がある。実演や工作・科学イベントも開催しており、子どもから大人まで一日中楽しめる科学館です。



これからの友の会のイベント

観察会「妙義の石を観察しよう」

■期日/9月21日(日) 9:00~12:00

■場所/妙義山



観察会「冬越しの昆虫を観察しよう」

■期日/12月7日(日) 10:00~12:00

■場所/自然史博物館周辺



友の会入会のお知らせ

年会費

- ①一般会員 _____ 3,000円
- ②高・大学生 _____ 2,000円
- ③小・中学生 _____ 1,000円
- ④家族会員 _____ 5,000円
- ⑤賛助会員(1口) _____ 10,000円

◎10月以降の入会は、年会費が半額となります。

◎入会されますと、博物館入館料が無料になり、博物館だよりなどの情報誌が配布されるなど、多数の特典があります。

私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録して、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館友の会へ封書またはメールでお送りください。日付と撮影場所をお忘れなく…。エピソードは簡単なコメントで大丈夫です。友の会通信で紹介させていただきます。なお、応募していただいた方に素敵な賞品をプレゼントいたします。



賛助会員(7月末現在) 以下、法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

野口会計事務所・松井会計事務所・市川会計事務所・山田会計事務所・佐藤春利・齋藤紀恵子・川原英雄・三栄商事

編集後記

世界遺産登録とあって、今、富岡市が元気です。かつて、群馬は全国でも有数の養蚕県で、恵まれた自然のもと、良質の繭を育てていました。ここに、全国初の官営製糸工場が建設され、日本の絹を世界に広めたことはよく知られています。工場の稼働が終了しても、その全体を良い状態のまま保ち続けたのは人々の努力と英知の賜です。

人を育て、絹産業を育てた群馬の自然がどのようなもので、どのようにしてつくられてきたのか、遠方から来県される観光客の方が当博物館へ来て、見て知ってくださるといいですね。

(友の会通信編集委員 角田寛子)